

授業科目 身体障害作業療法評価学

【担当教員名】 桐本 光, ピラヤ洋子, 泉 良太	対象学年	2	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【一般目標：G I O】
身体障害領域における作業療法評価の基本的な知識を習得する。

- 【行動目標：S B O】
1. 身体障害作業療法における評価の意義を知る。
 2. 一般情報収集に必要な内容を列挙できる。
 3. 面接や観察のコツを知る。
 4. 各検査の意義と方法について説明ができる。
 5. 代表的疾患に特有な検査・評価法について説明ができる。
 6. 必要とされる検査の結果および情報を統合解釈し、病態を的確に把握することができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	身体障害における作業療法評価総論, 一般情報収集の意義, 面接, 観察手法	1~3	講義 桐本
2	脳神経検査方法と結果解釈	4~6	講義 桐本
3	脳神経検査方法と結果解釈	4~6	講義 桐本
4	感覚・知覚検査方法と結果解釈	4~6	講義 桐本
5	感覚・知覚検査方法と結果解釈	4~6	講義 桐本
6	関節可動域検査方法(上肢)	4~6	講義 ピラヤ
7	関節可動域検査方法(手指)	4~6	講義 ピラヤ
8	関節可動域検査方法(体幹, 下肢)	4~6	講義 ピラヤ
9	表面解剖・触診・筋力検査方法(上肢)	4~6	講義 泉
10	表面解剖・触診・筋力検査方法(上肢)	4~6	講義 泉
11	表面解剖・触診・筋力検査方法(手指)	4~6	講義 泉
12	表面解剖・触診・筋力検査方法(下肢)	4~6	講義 泉
13	表面解剖・触診・筋力検査方法(下肢)	4~6	講義 泉
14	深部反射, 病的反射検査方法と結果解釈	4~6	講義 泉

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	ダニエルズ新・徒手筋力検査法, Hislop, H, J他, 津山直一訳, 協同医書出版社, 2003年, 6500円 ベッドサイドの神経の診方, 田崎義昭・他, 南山堂, 2004年, 7200円			
参考書	ビジュアルテキスト脳神経, Linda Wilson-Pauwels et al, 高倉公明監訳, 医学書院, 2004年, 6500円			
その他の資料	プリント			

【評価方法】 出席, 期末試験	【履修上の留意点】 受講にあたり, 骨・筋・神経系を中心とした解剖生理学的知識が要求される。
--------------------	---